

保育士・保育所等実態調査結果の概要について

県民文化部こども若者局こども・家庭課

長野県では、今後の保育士確保、定着、再就職支援のための基礎資料とすることを目的に「長野県保育士・保育所等実態調査」を実施しました。調査結果の概要は以下のとおりです。

1. 調査の概要

(1) 調査対象

ア 保育士実態調査

県内に保育士登録のある65歳以下保育士（令和5年12月1日現在）

①現役保育士実態調査（保育施設に勤務する現役保育士）

②潜在保育士実態調査（保育士以外の仕事に就いているまたは現在就業していない保育士登録者）

イ 保育所実態調査

県内保育施設（認可保育所、認定こども園、地域型保育事業所、へき地保育所）

ウ 指定保育士養成校学生実態調査

県内の指定保育士養成校9校の在学生

<回収結果>

	調査対象者	回答数	回答率	調査期間
保育士調査	22,061人	4,385人	19.9%	令和6年1月18日～2月16日
保育所調査	660施設	211施設	32.0%	令和6年3月21日～3月28日
学生調査	964人	494人	51.2%	令和6年1月18日～2月16日

(2) 調査方法

ア 保育士実態調査

県内に保育士登録のある65歳以下の保育士に二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

イ 保育所実態調査

県内保育施設に二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

ウ 指定保育士養成校学生実態調査

県内指定保育士養成校に二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

(3) 調査結果の見方

ア 回答は各質問の回答者（n）を基礎とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）

イ 図表の問のタイトル及び回答の選択肢を簡略化して表記している場合がある。

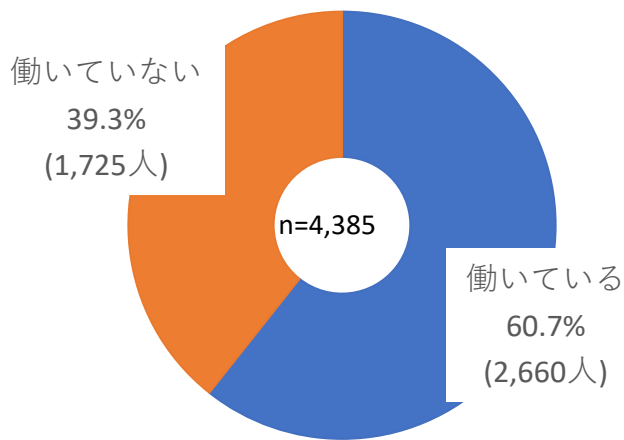
2. 調査結果の概要

保育士実態調査

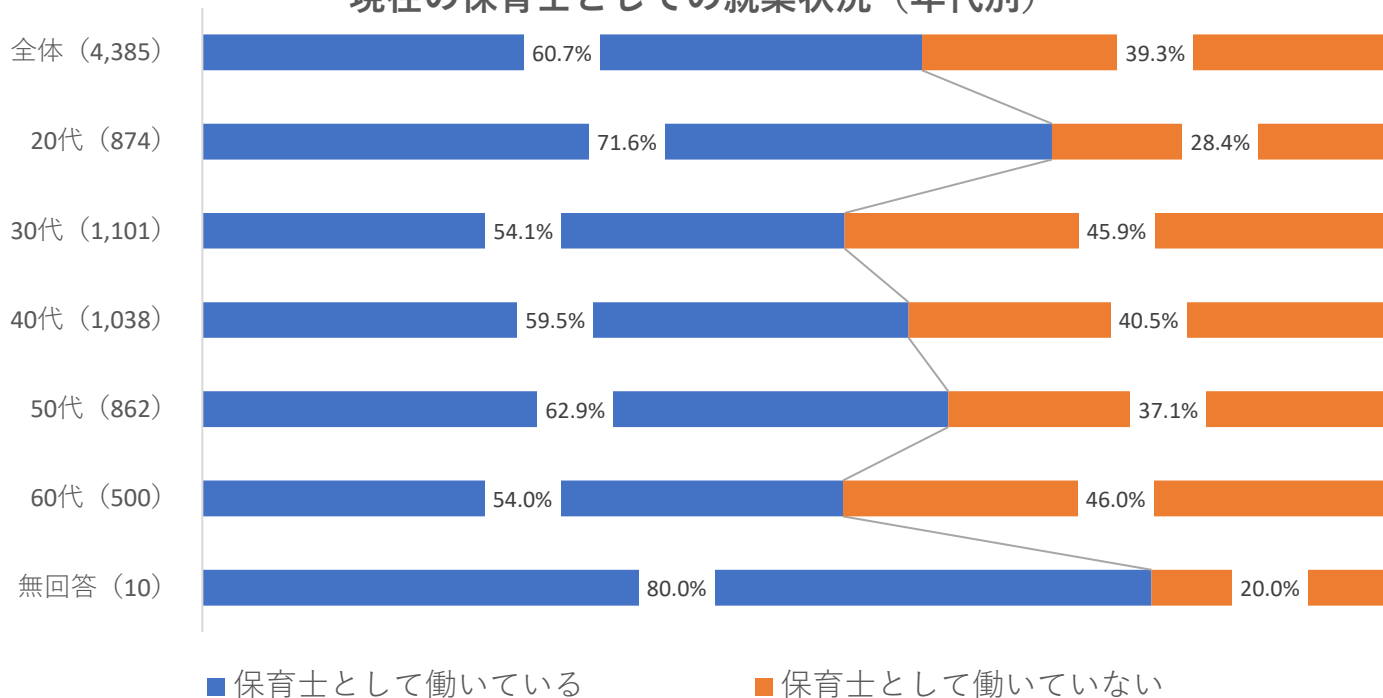
現在の保育士としての就業状況

- 現在の保育士としての就業状況は、「働いている」が約6割（60.7%）となり、「働いていない」は約4割（39.3%）となっている。

現在の保育士としての就業状況



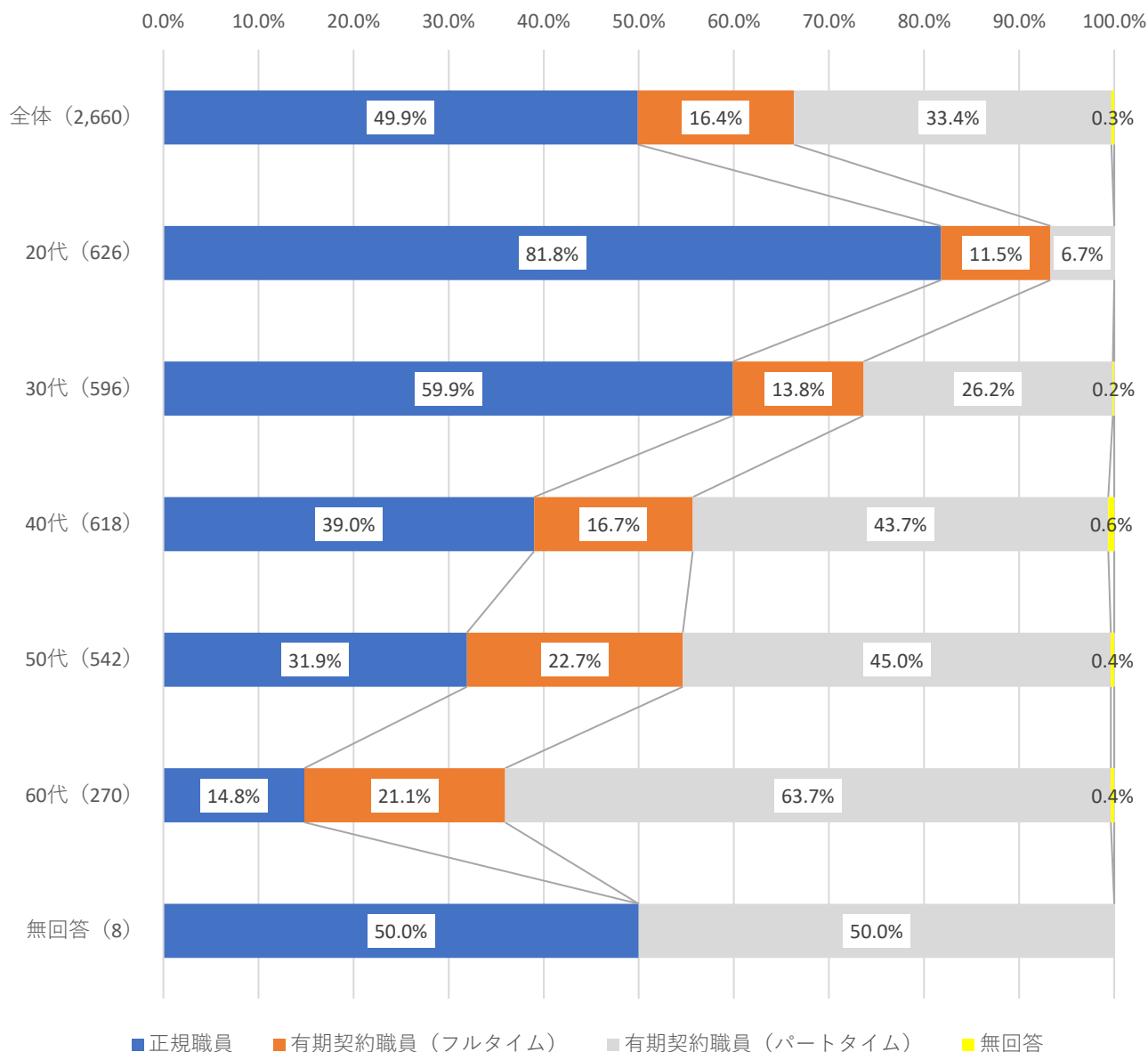
現在の保育士としての就業状況（年代別）



現役保育士実態調査

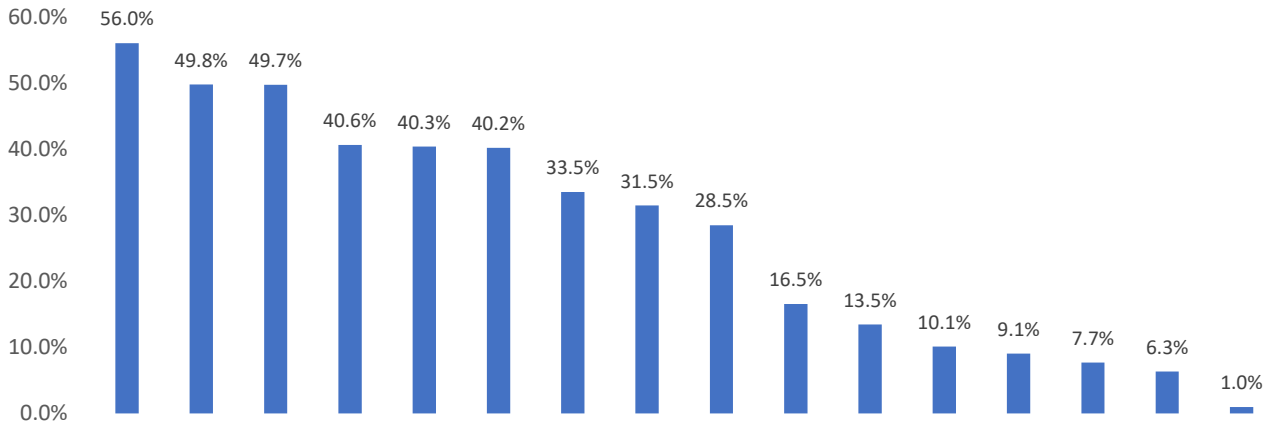
雇用形態

- 雇用形態としては約半数（49.9％）が正規職員、有期契約職員（パートタイム）33.4％、有期契約職員（フルタイム）16.4％となっている。
- 年代別にみると、20代、30代は正規職員が最も多く、30代以降はパートタイムが最も多い。



働いている中での課題・悩み（複数回答）

○「発達に遅れのある児童への対応」が56.0%と最も高く、次いで「保護者への対応」（49.8%）となっている。



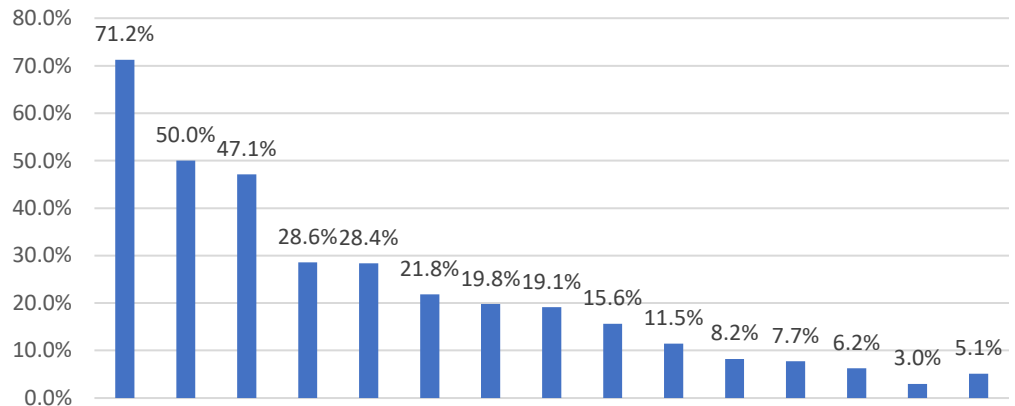
	n	発達に遅れのある児童への対応	保護者への対応	賃金、福利厚生	体力の低下	保育所等勤務先での人間関係	最近の保育の知識や技術などの不足	家事、育児、介護等との両立、家族などの周囲の理解	障害児保育	事故対応	防災対策	衛生管理	食物アレルギーへの対応	その他	体力づくり	地域の子育て支援	課題・悩み等はない
全体	2660	56.0%	49.8%	49.7%	40.6%	40.3%	40.2%	33.5%	31.5%	28.5%	16.5%	13.5%	10.1%	9.1%	7.7%	6.3%	1.0%

正規職員	1327	59.1%	58.9%	53.6%	31.4%	46.2%	39.9%	35.9%	35.3%	34.6%	21.3%	16.5%	11.3%	11.6%	8.5%	7.2%	0.3%
有期契約職員（フルタイム）	437	55.4%	53.5%	60.0%	47.4%	44.6%	41.0%	30.0%	30.4%	26.8%	14.6%	11.4%	12.8%	6.9%	8.0%	7.6%	0.7%
有期契約職員（パートタイム）	888	52.1%	34.3%	38.9%	51.0%	29.5%	40.2%	31.5%	26.6%	20.0%	10.4%	10.0%	7.1%	6.3%	6.2%	4.5%	2.1%
無回答	8	12.5%	37.5%	50.0%	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%

20代	626	59.6%	57.7%	59.1%	12.3%	48.1%	41.1%	19.6%	33.4%	27.8%	13.3%	9.7%	8.3%	8.8%	6.1%	3.2%	0.6%
30代	596	58.4%	53.9%	58.2%	28.5%	42.1%	40.4%	55.9%	37.4%	32.9%	19.8%	16.6%	12.9%	8.1%	8.4%	6.0%	0.7%
40代	618	59.7%	49.7%	51.1%	51.0%	39.8%	41.7%	44.0%	31.7%	28.8%	17.3%	13.4%	10.4%	9.5%	9.1%	8.1%	1.1%
50代	542	51.3%	44.6%	39.5%	64.0%	37.3%	38.7%	23.1%	29.2%	28.0%	17.5%	14.8%	11.3%	9.4%	7.4%	8.1%	0.9%
60代	270	43.3%	33.3%	25.9%	61.9%	26.3%	37.4%	13.7%	18.1%	20.4%	13.3%	12.6%	5.2%	9.6%	7.4%	6.7%	2.2%
無回答	8	62.5%	37.5%	62.5%	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%

現在の職場で改善を希望する事項（複数回答）

- 現在の職場で改善を希望する事項は、「給与・賞与等の改善」が71.2%で最も多く、次いで「職員数の増員」（50.0%）となっている。
- 雇用形態別でみると、正規では「事務・雑務の軽減」が2番目に多く、フルタイム及びパートタイムでは「職員数の増員」が2番目に多くなっている。
- 年代別では、20代、30代において「事務・雑務の軽減」が2番目に多くなっている。



	n	給与・賞与等の改善	職員数の増員	事務・雑務の軽減	未消化（有給等）休暇の改善	職員間のコミュニケーション	勤務シフトの改善	責任範囲の縮小	雇用の安定化（正規職員登用）	相談体制の充実	評価制度の見直し	研修機会の充実	保育所や法人の保育理念や運営方針	特になし	権限範囲の拡大	その他（具体的に）
全体	2,660	71.2%	50.0%	47.1%	28.6%	28.4%	21.8%	19.8%	19.1%	15.6%	11.5%	8.2%	7.7%	6.2%	3.0%	5.1%

【雇用形態】																
正規職員	1,327	73.5%	59.8%	64.4%	41.4%	29.8%	29.2%	23.1%	18.9%	17.9%	16.2%	9.6%	8.4%	2.2%	3.6%	5.8%
有期契約職員（フルタイム）	437	82.6%	46.9%	45.8%	22.7%	30.0%	16.9%	25.6%	30.4%	15.8%	11.0%	6.4%	6.9%	4.3%	3.4%	5.0%
有期契約職員（パートタイム）	888	62.2%	37.2%	22.2%	12.3%	25.6%	13.3%	12.0%	13.7%	12.3%	4.7%	7.2%	7.3%	13.3%	1.8%	4.1%
無回答	8	87.5%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

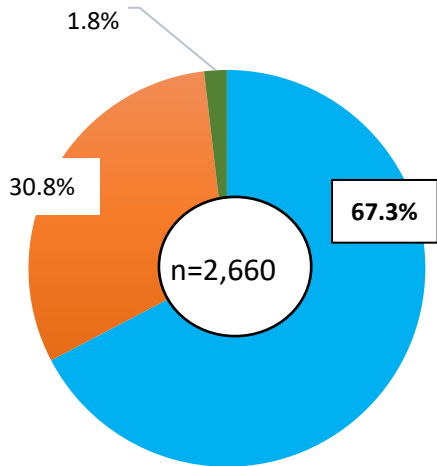
【年代】																
20代	626	79.9%	56.2%	57.2%	36.7%	32.6%	26.2%	26.0%	17.7%	19.0%	12.0%	7.8%	7.8%	3.4%	3.8%	5.3%
30代	596	74.8%	53.9%	54.4%	35.2%	28.5%	23.5%	23.2%	20.5%	16.6%	13.8%	7.9%	8.9%	3.7%	2.3%	6.4%
40代	618	70.4%	49.2%	44.2%	23.6%	28.5%	20.7%	19.1%	20.1%	15.2%	12.0%	8.7%	6.0%	6.0%	3.1%	5.5%
50代	542	66.8%	43.4%	39.9%	24.0%	28.4%	20.8%	14.8%	21.6%	15.5%	11.4%	8.3%	9.0%	7.2%	3.1%	4.8%
60代	270	54.4%	42.6%	28.5%	15.9%	17.8%	12.6%	9.3%	12.6%	7.4%	4.1%	8.5%	6.3%	17.4%	1.1%	1.5%
無回答	8	62.5%	37.5%	62.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%

○システムの導入状況は、「導入されている」が67.3%となっている。

導入されていると回答した者に、導入により業務量が軽減したか聞いたところ、「そう思う」「ややそう思う」が63.7%となっている。

「あまりそう思わない」「そう思わない」は35.2%となっており、その理由は「導入前と業務量が変わらない」が56.3%と最も多くなっている。

保育業務を支援するシステム導入

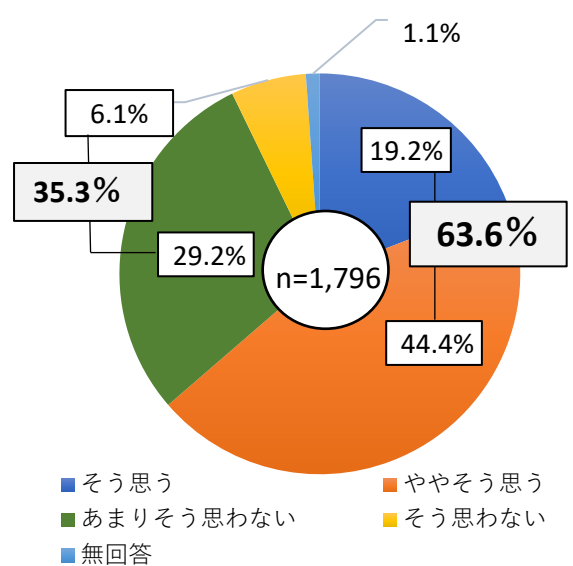


■ 導入されている ■ 導入されていない ■ 無回答

保育業務支援のためのシステム導入の有無
(運営主体別)

	n	はい	いいえ	無回答
全体	2,660	67.3%	30.8%	1.8%
公設・公営	1,561	72.6%	25.6%	1.8%
公設・民営	75	58.7%	41.3%	0.0%
民設・民営 (社会福祉法人)	628	60.2%	38.1%	1.8%
民設・民営 (株式会社)	139	66.9%	31.7%	1.4%
民設・民営 (NPO法人)	44	29.5%	65.9%	4.5%
民設・民営 (その他)	156	62.8%	34.6%	2.6%
無回答	57	56.1%	40.4%	3.5%

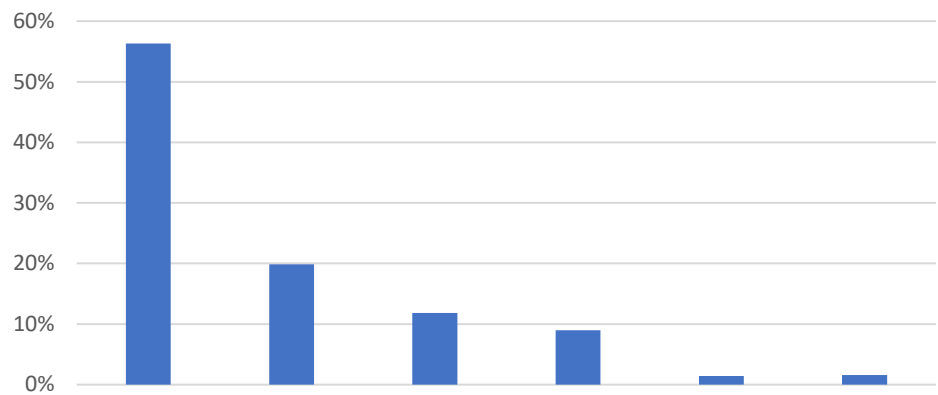
システム導入で業務負担は軽減されたか



システム導入で業務負担は軽減されたか
(運営主体別)

	n	そう 思う	やや そう 思う	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答
全体	1,796	19.2%	44.4%	29.2%	6.1%	1.1%
公設・公営	1,137	16.1%	44.7%	31.9%	6.4%	0.9%
公設・民営	44	31.8%	36.4%	22.7%	9.1%	0.0%
民設・民営 (社会福祉法人)	379	20.1%	43.8%	29.0%	6.1%	1.1%
民設・民営 (株式会社)	93	20.4%	46.2%	25.8%	4.3%	3.2%
民設・民営 (NPO法人)	13	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%	0.0%
民設・民営 (その他)	98	43.9%	36.7%	14.3%	3.1%	2.0%
無回答	32	18.8%	65.6%	9.4%	3.1%	3.1%

負担軽減にならないと感じる理由



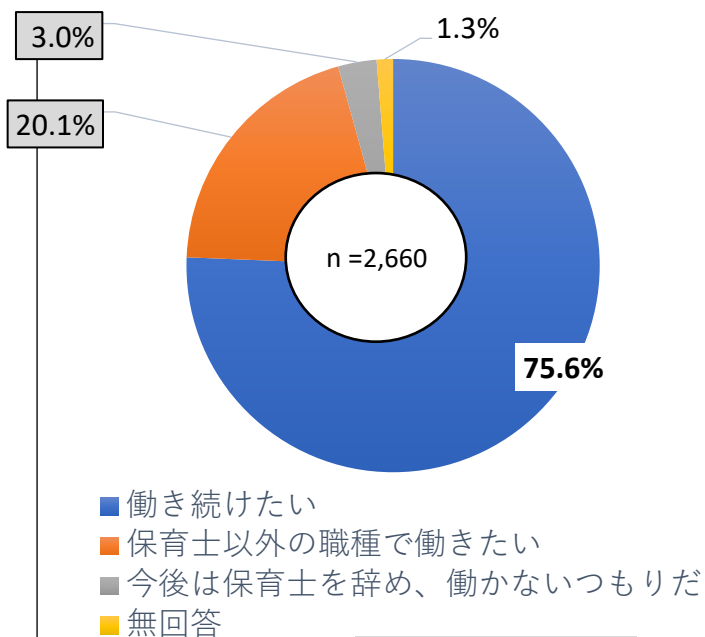
	n	導入前と業務量が変わらない	システムの使い勝手が悪い	その他	システム操作が難解	システムが古い	無回答
全体	634	56.3%	19.9%	11.8%	9.0%	1.4%	1.6%

公設・公営	436	56.4%	21.6%	10.6%	9.4%	0.7%	1.4%
公設・民営	14	50.0%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
民設・民営 (社会福祉法人)	133	57.1%	15.8%	15.8%	8.3%	3.0%	0.0%
民設・民営 (株式会社)	28	39.3%	17.9%	21.4%	10.7%	3.6%	7.1%
民設・民営 (NPO法人)	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設・民営 (その他)	17	70.6%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%
無回答	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

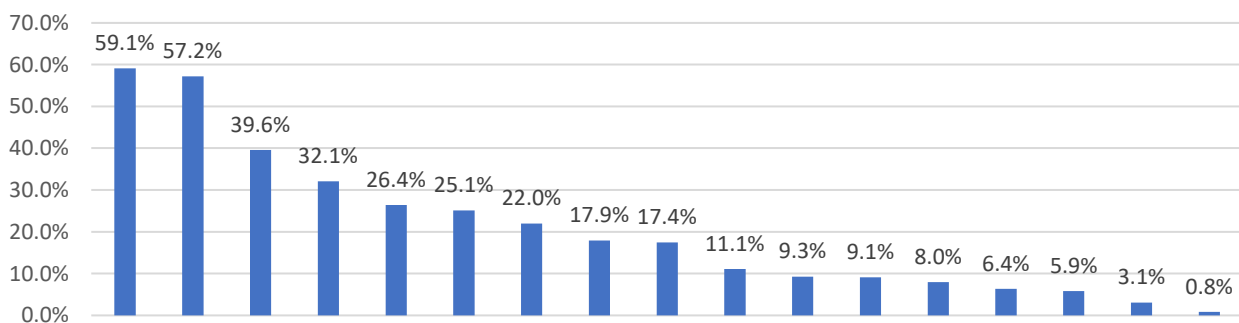
今後の保育士としての継続希望

- 今後も保育士として働きたい保育士は75.6%となっている。
- 「保育士以外の仕事で働きたい」「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」と回答した者に、退職したい理由を聞いたところ「給料が安い」が59.1%と最も多く、次いで「仕事量が多い」(57.2%)となっている。

今後も保育士として働きたいか



退職したい理由



	n	給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	保護者対応の大変さ	職場の人間関係(具体的に)	他業種への興味	職業適性に対する不安	子育て・家事	健康上の理由(体力含む)	その他	妊娠・出産	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない	結婚	家族の事情(介護等)	保育所や法人の保育理念に共感できなかった	転居	配偶者の意向
全体	614	59.1%	57.2%	39.6%	32.1%	26.4%	25.1%	22.0%	17.9%	17.4%	11.1%	9.3%	9.1%	8.0%	6.4%	5.9%	3.1%	0.8%

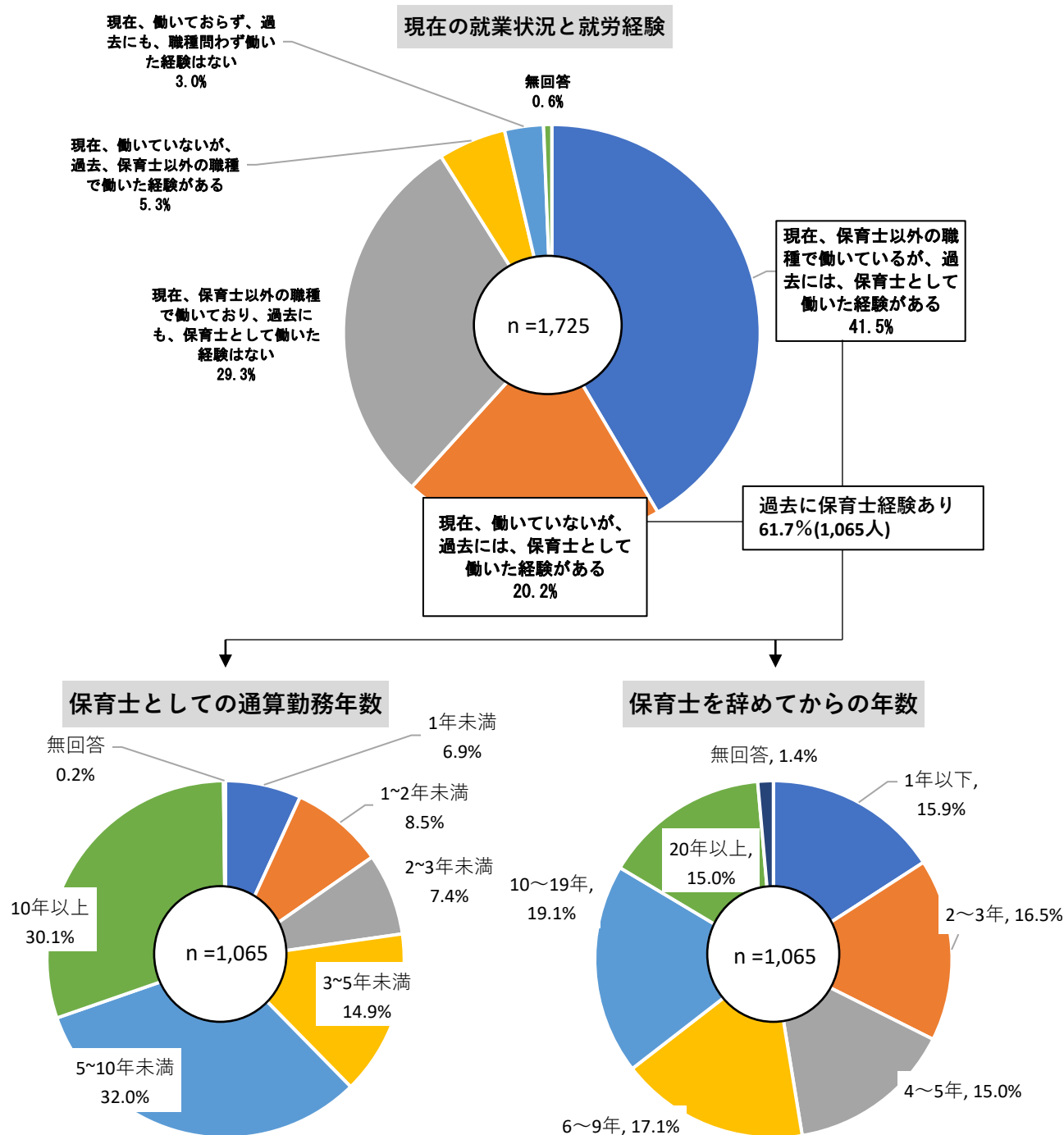
潜在保育士実態調査

※潜在保育士・・・保育士以外の仕事に就いているまたは現在就業していない保育士登録者

○就業状況について聞いたところ、「保育士以外に就業している」が70.8%、「現在働いていない」が28.5%となっている。

○過去に保育士として働いたことがある潜在保育士は61.7%と半数以上となっている。

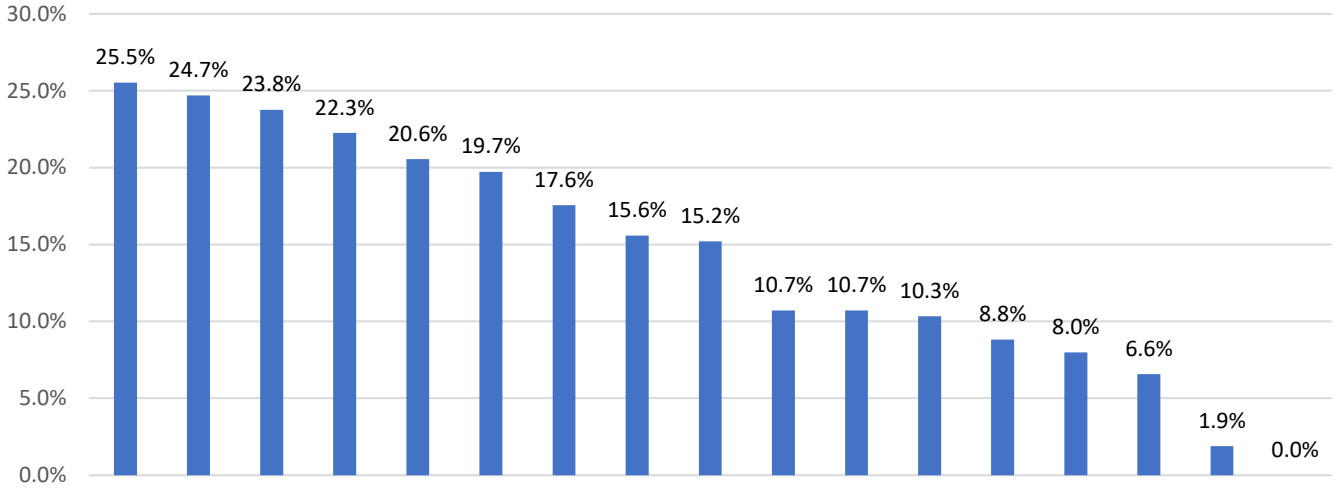
○過去に保育士として就業経験がある者の保育士としての通算勤務年数は5～10年が32.0%と最も多くなっており、保育士を辞めてからの年数は10～19年が19.1%と最も多くなっている。



保育所を退職した理由

○過去に保育士として就業経験がある者に保育所を退職した理由を聞いたところ、「職場の人間関係」が25.5%で最も多く、次いで「仕事量が多い」（24.7%）となっている。

○年代別にみると、20代で「職場の人間関係」が47.9%と他の年代よりも多くなっている。



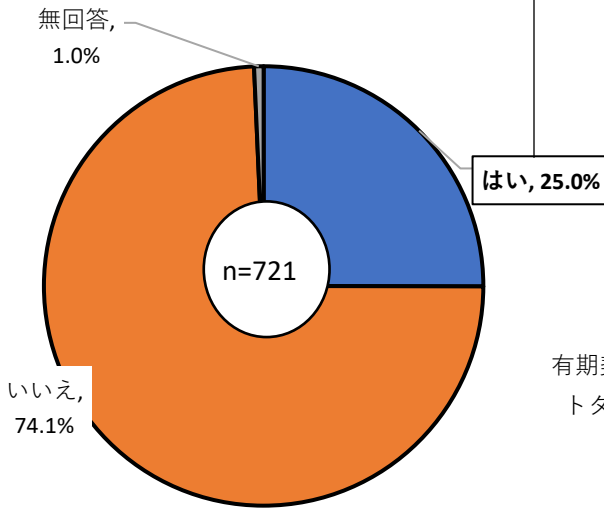
	n	職場の人間関係	仕事量が多い	給料が安い	結婚	妊娠・出産	労働時間が長い	健康上の理由(体力含む)	その他	他業種への興味	子育て・家事	家族の事情(介護等)	職業適性に対する不安	転居	保護者対応の大変さ	保育所や法人の保育理念に共感できなかった	配偶者の意向	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない
全体	1,065	25.5%	24.7%	23.8%	22.3%	20.6%	19.7%	17.6%	15.6%	15.2%	10.7%	10.7%	10.3%	8.8%	8.0%	6.6%	1.9%	0.0%

[illegible]

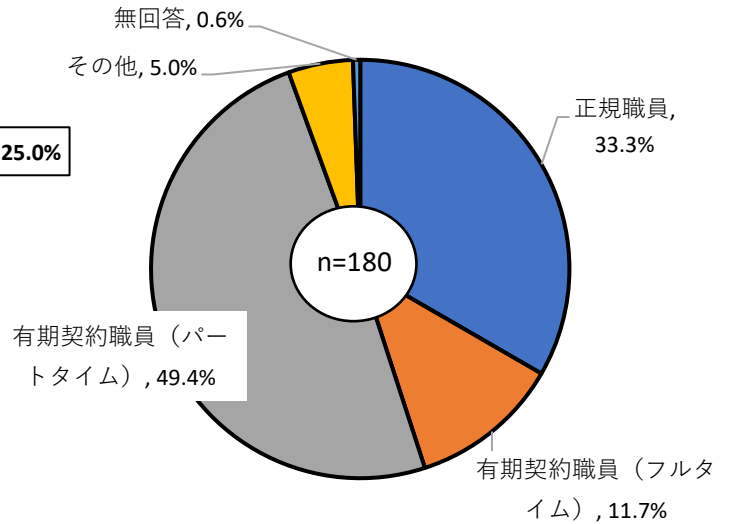
就職希望

- 今後保育士として働く意向のある者のうち、で現在保育関係の就職先を探している者は25.0%で、希望する雇用形態はパートタイムが49.4%となっている。
- 再就職のために使いたい支援や制度は「短時間勤務」が最も高く46.9%、次いで「休日労働の免除」（45.2%）となっている。

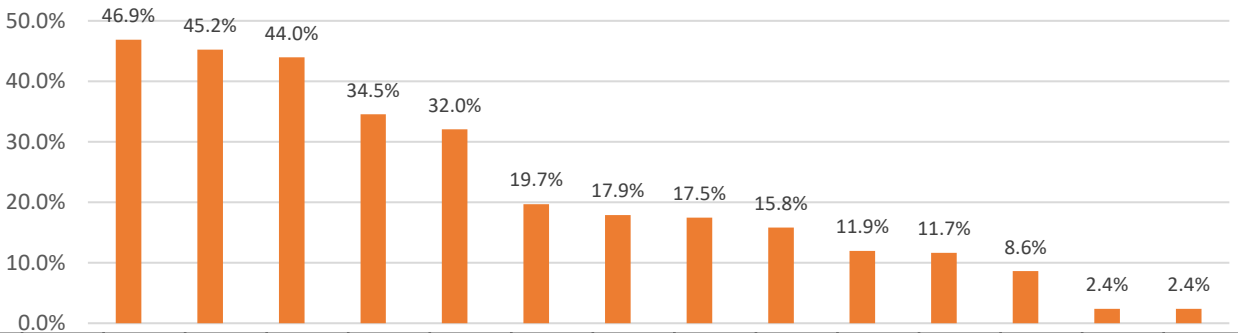
現在保育関係の就職先を探しているか



希望する雇用形態



再就職のために使いたい支援・制度（複数回答）



	n	短時間勤務	休日労働の免除	時間外勤務の免除	子の看護休暇	時差出勤・フレックスタイム	介護休業・介護休暇	育児休業	両親等、家族による育児の支援	保育施設の利用	放課後児童クラブ	病児・病後児保育	必要と思う支援や制度はない	その他	ベビーシッター
全体	721	46.9%	45.2%	44.0%	34.5%	32.0%	19.7%	17.9%	17.5%	15.8%	11.9%	11.7%	8.6%	2.4%	2.4%

保育所実態調査

回答施設の属性

設置運営種別

設置運営主体	回答数	割合(%)
公設公営	153	72.5
公設民営	5	2.4
民設民営	53	25.1
合計	211	-

運営主体別

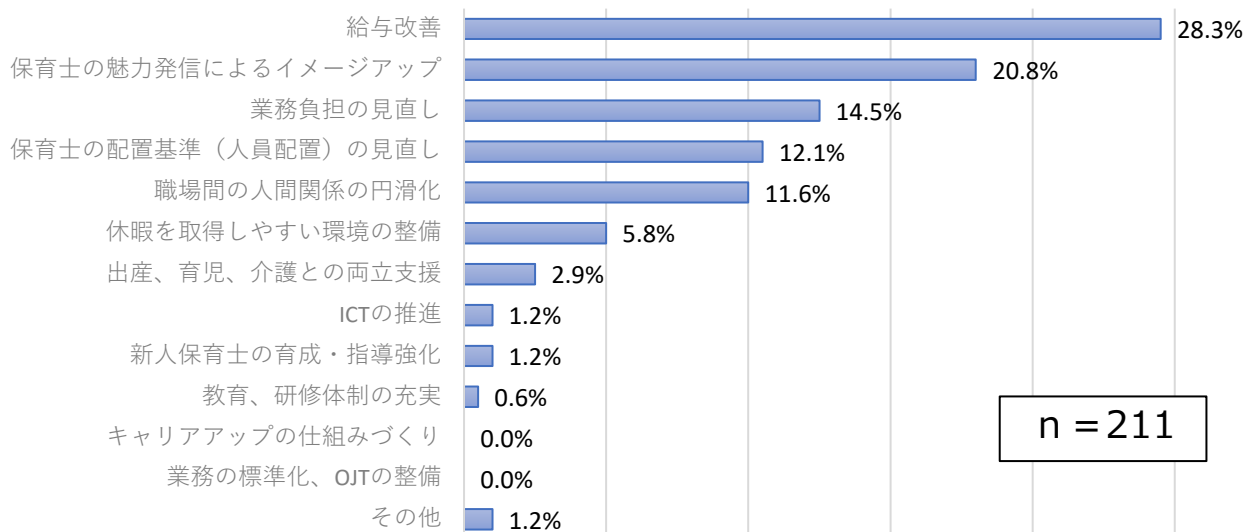
運営法人	回答数	割合(%)
市町村	153	72.5
社会福祉法人	30	14.2
学校法人	7	3.3
特定非営利活動法人	9	4.3
株式会社	4	1.9
合同会社	3	1.4
一般社団法人	3	1.4
宗教法人	1	0.5
個人	1	0.5
合計	211	-

施設類型

保育所種別	回答数	割合(%)
認可保育所	143	67.8
保育所型認定こども園	17	8.1
幼保連携型認定こども園	15	7.1
小規模保育事業所	14	6.6
事業所内保育事業所	6	2.8
幼稚園型認定こども園	5	2.4
家庭的保育事業所	3	1.4
地方裁量型認定こども園	2	0.9
へき地保育所	1	0.5
その他/無回答	5	2.4
合計	211	-

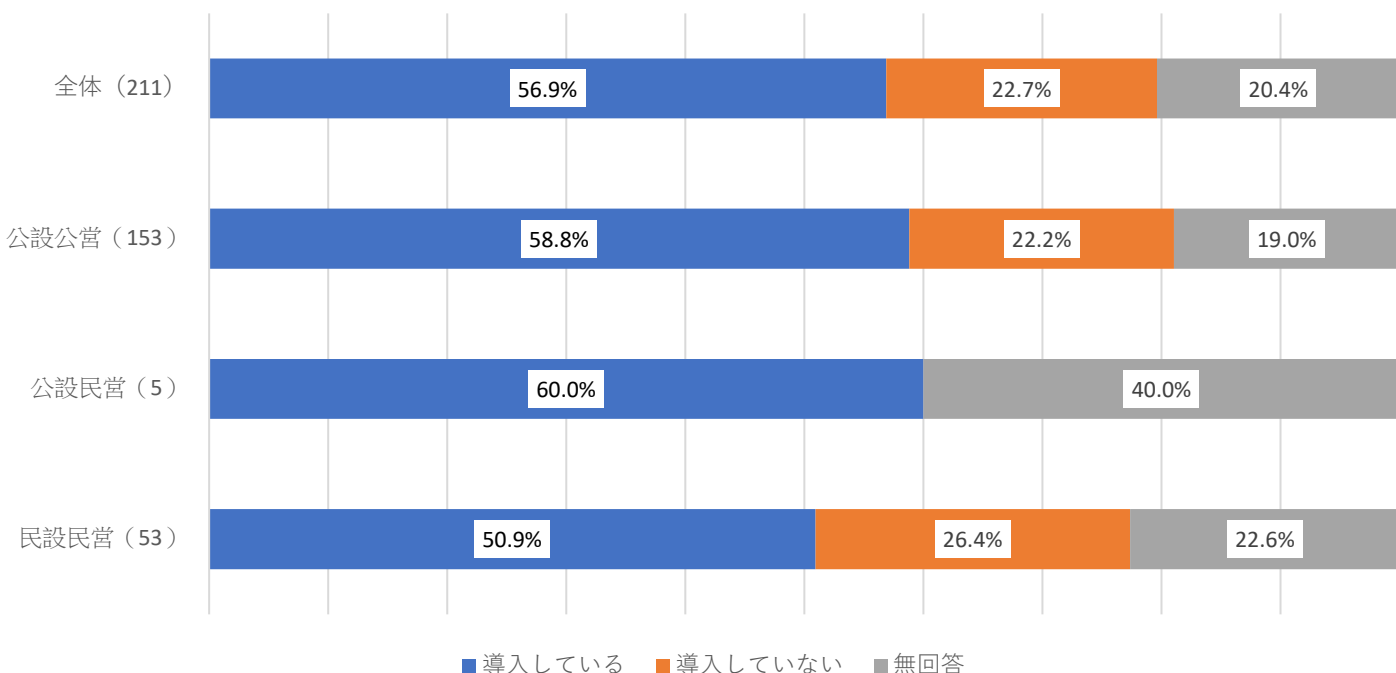
保育施設において保育士確保を進めるために必要なこと（複数回答）

○「給与改善」が28.3%で最も多く、次いで「保育士の魅力発信によるイメージアップ」20.8%となった。



ICTの導入状況

○ICTの導入状況を聞いたところ、過半数（56.9%）の施設が導入している。

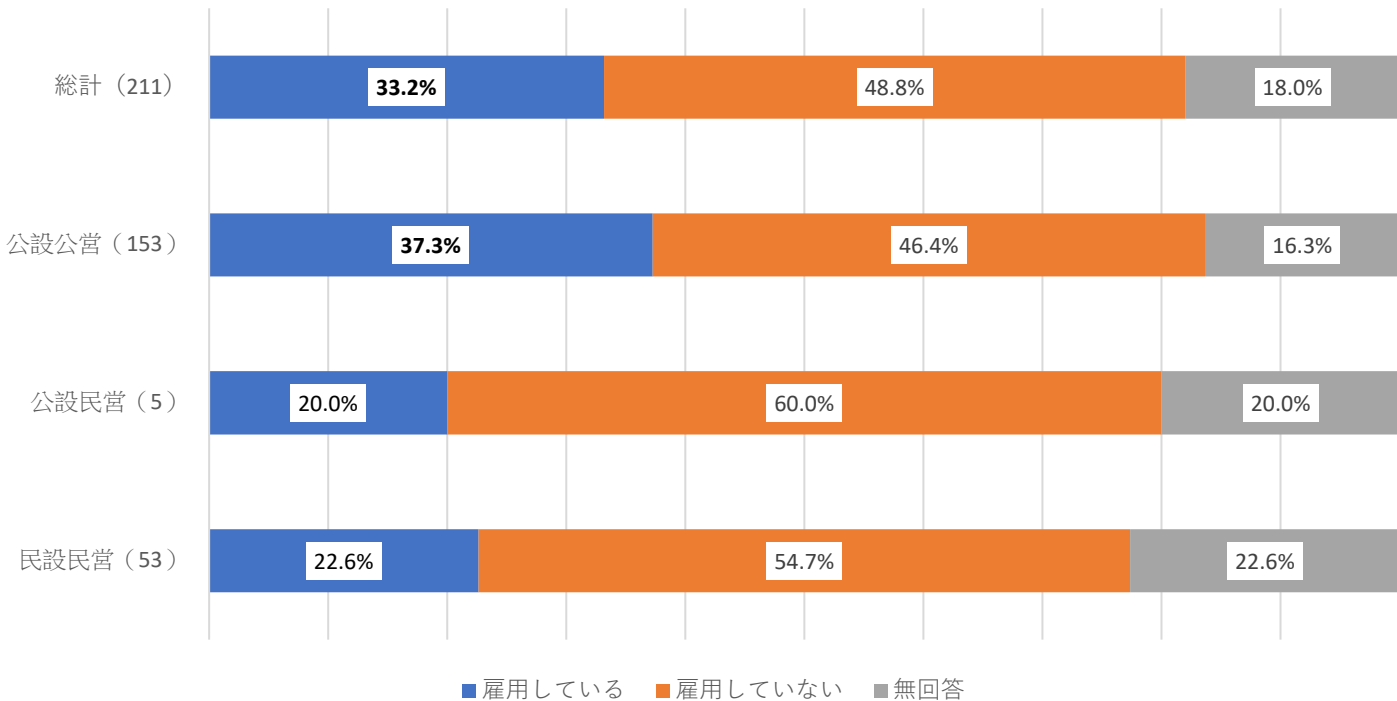


保育補助者の活用状況

○保育補助者を雇用している施設は、33.2%となっている。

業務内容は、「担任補助」や「早朝延長保育」等となっている。

※ 保育補助者とは...保育士資格を有していないが、保育に関する40時間以上の実習を受けた者又はこれと同等の知識及び技能があると市町村が認めた園児の対応を行う者。



保育補助者の業務（自由記述）

○担任補助
○早朝延長保育
○未満児保育補助
○支援の必要な子の見守り
○延長保育
○未満児保育
○つどいの広場スタッフ
○一時預かり保育
○昼寝の見守り、複数担任

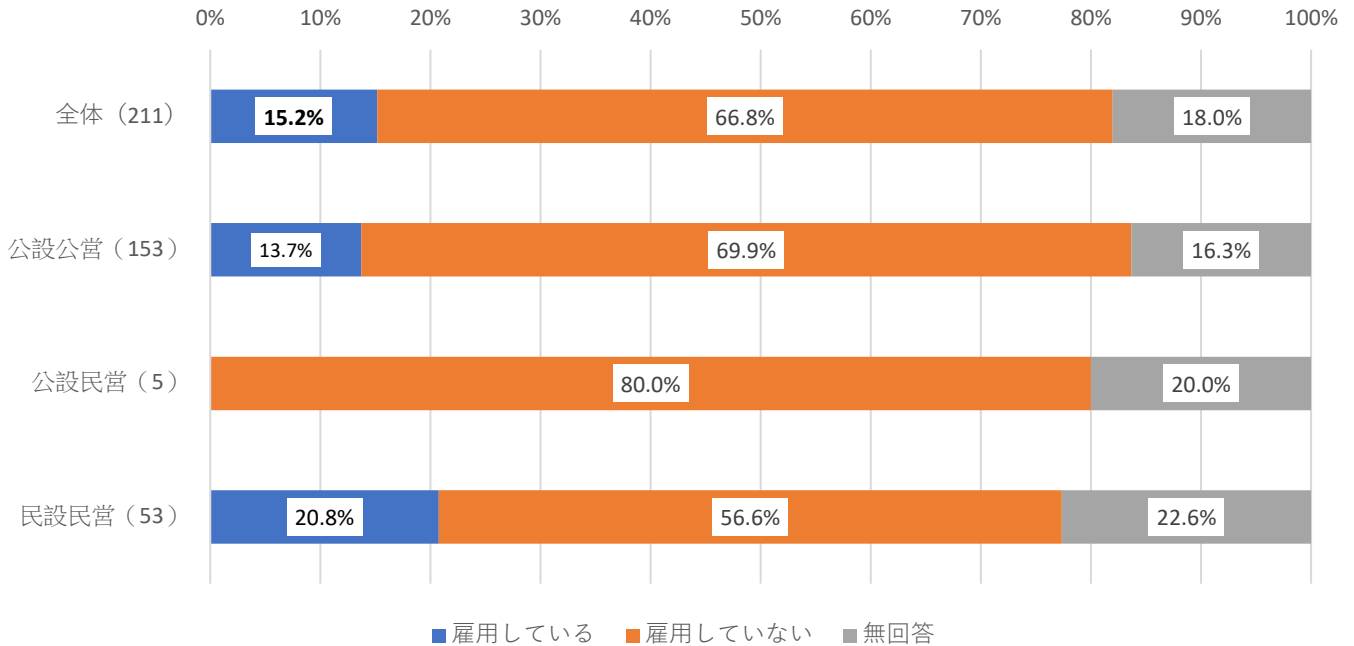
○クラスの代替
○延長保育 シルバーサポーター
○遅番業務補助
○保育補助
○バス添乗
○掃除
○保育士業務一般
○保育士同等

保育支援者の活用状況

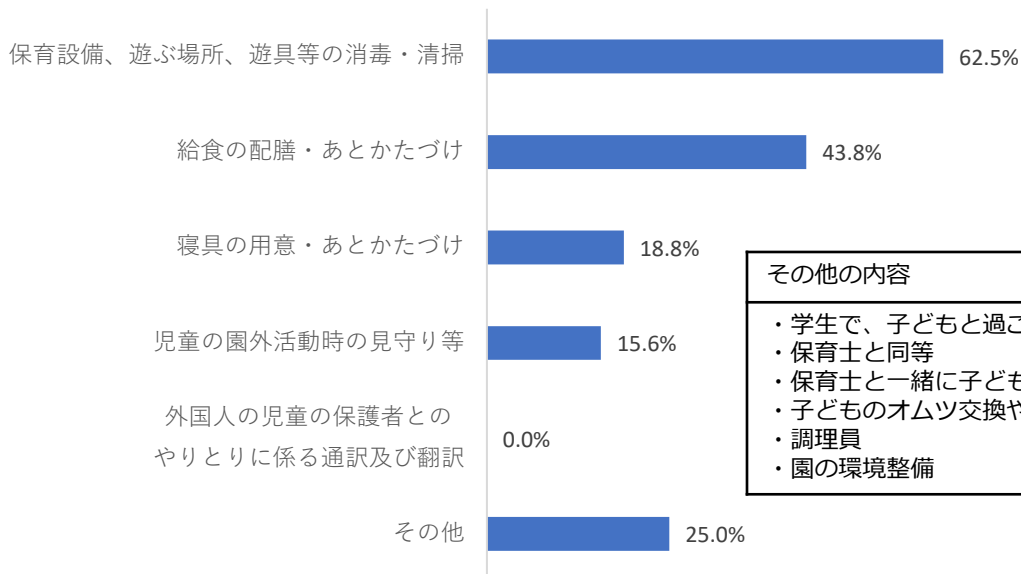
○保育支援者を雇用している施設は、15.2%となっている。

業務内容は、「保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒清掃」が62.5%で最も多い。

※ 保育支援者とは...保育士資格を有しない者で、保育に係る周辺業務（保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃、給食の配膳・あとかたづけ等）を行う者。



保育支援者が行っている業務（n = 32）

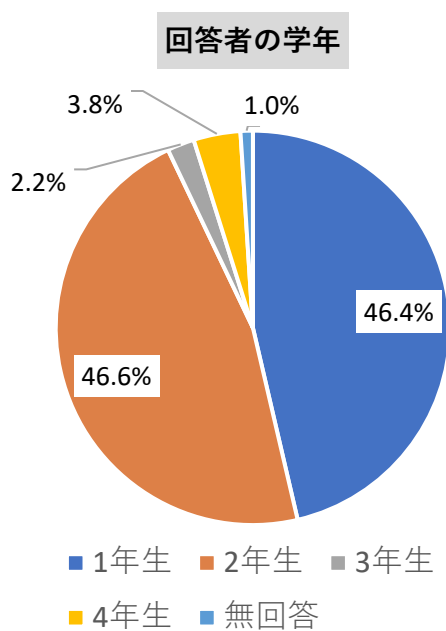
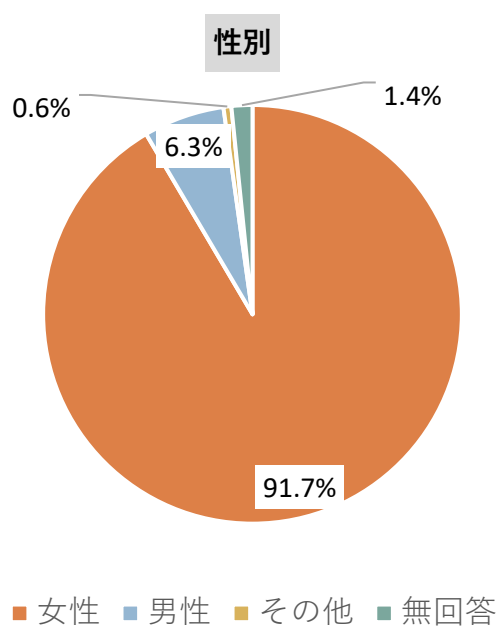
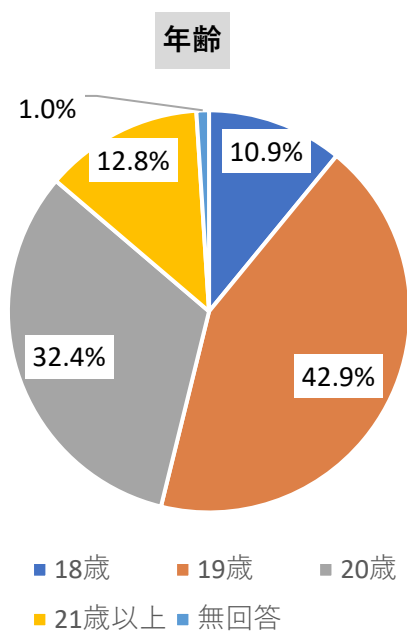


その他の内容

- ・学生で、子どもと過ごす
- ・保育士と同等
- ・保育士と一緒に子どもと遊んだりお世話
- ・子どものオムツ交換や遊び
- ・調理員
- ・園の環境整備

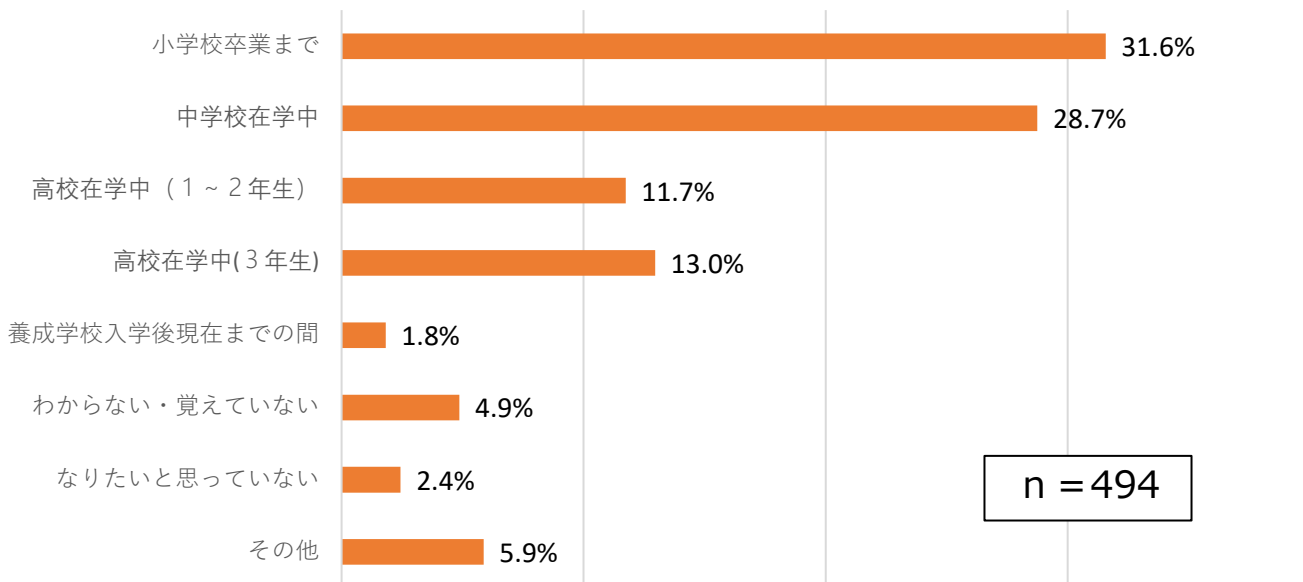
指定保育士養成校学生実態調査

属性 (n=494)



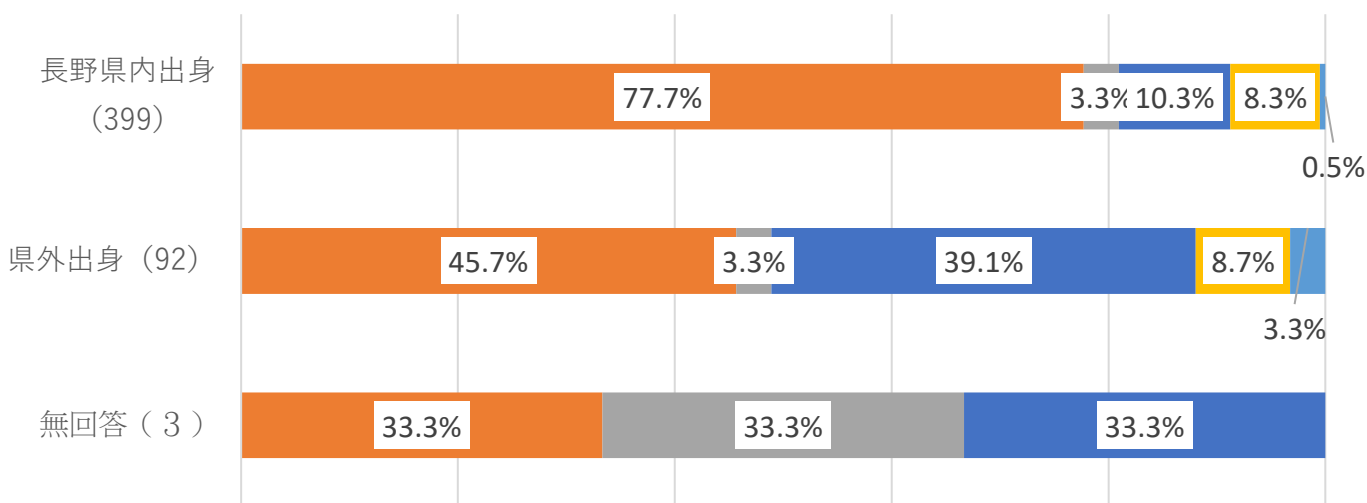
保育士になりたいと思った時期

○「小学校卒業まで」が31.6%が最も多く、次いで「中学校在学中」が28.7%となっている。



長野県内への就職希望

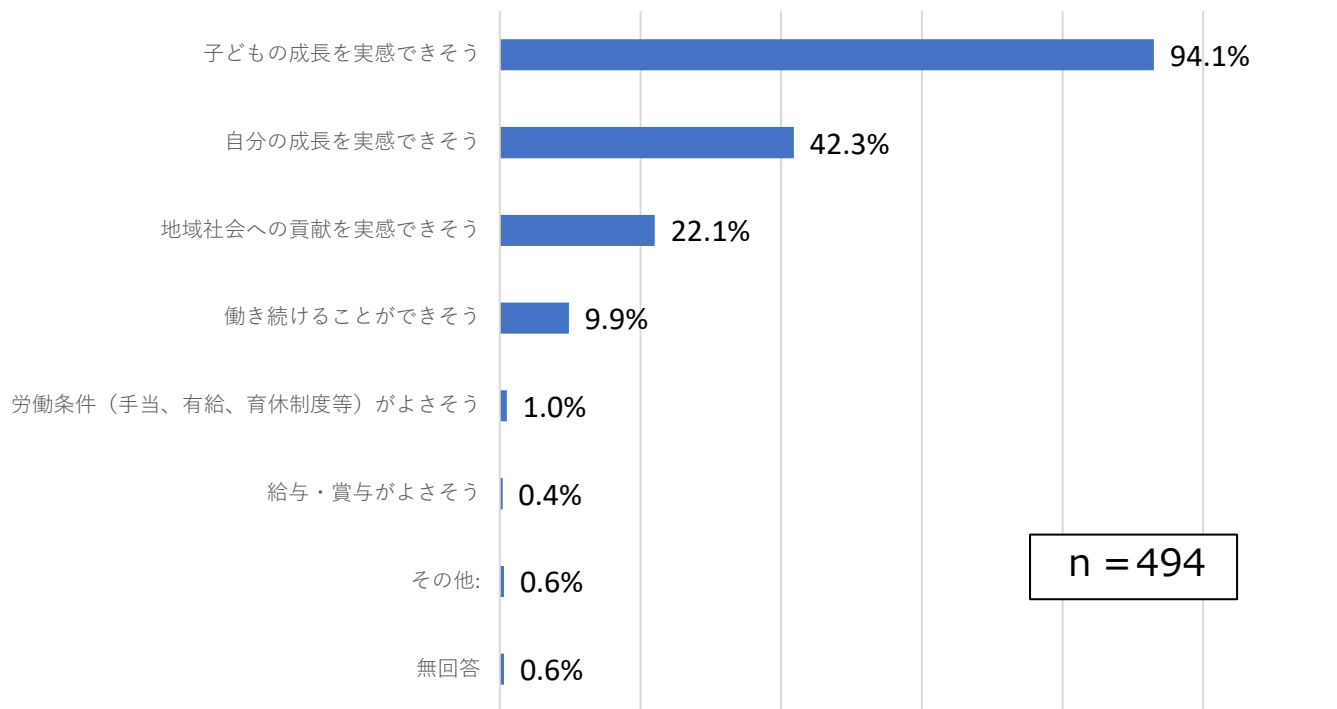
○県内出身者の77.7%、県外出身者の45.7%が「長野県内に就職したい」と答えている。



- 長野県内に就職したい
- 長野県内に正規での就職希望だが、正規でないなら県外を希望
- 県外就職を希望
- 保育者としての就職を希望しない
- 無回答

保育者について、どのようなことに魅力を感じるか（複数回答）

○「子供の成長を実感できそう」が94.1%で最も高い。



保育者になるにあたり、不安に思うこと（複数回答）

○「保護者対応」が81.4%と最も多く、次いで「職場の人間関係」が77.1%となっている。

